



# 学校だより No.8

— 11月号 — 2018（平成30）年10月27日  
 聖ウルスラ学院英智小・中学校

今年もあとわずかとなりました。朝晩はめっきり寒くなり、体調管理にはこれまで以上に気を付けて、健康に過ごしたいものです。

9・10月は行事が目白押しでした。中でも、静修会・アンジェラタイムと創立記念式典は、改めて創立者の思いやキリスト教について考え、自分を見つめる良い機会となったのではないかと思います。

さて、11月は比較的落ち着いた勉強ができる時期になります。定期考査や公開研究会もあります。地に足を付けて、しっかりと取り組みたいと思います。

## 《11月行事予定》

日	曜	First	Second	Third
1	木			
2	金	午前授業(給食ありSB13:30)※光クラブなし T19年進研模試(午前)		
3	土	文化の日(小学校課程 前期入試)		
4	日			
5	月			
6	火			
7	水		⑥クラブ	
8	木	4年学力テスト		
9	金			
10	土	七五三お祝い会(2~4年休業)		
11	日			
12	月			
13	火		5・6・7年 後期中間考査	後期中間考査(9年15時まで)
14	水		7年 後期中間考査	↓ ↓
15	木		5年特別授業③④5B/⑤⑥5A	8年科学館(弁当・終日・T1課外あり)
16	金	縦割りお弁当の日		
17	土		数検 4・7年宿泊学習説明会	
18	日			
19	月			
20	火			
21	水		⑥⑦2nd体力向上企画	7年以上丁寧掃除の日
22	木	午前授業(給食ありSB13:30)		
23	金	勤労感謝の日・第14回英智公開研究会		
24	土			
25	日			
26	月			
27	火			
28	水		⑥委員会	⑥8年委員会
29	木			
30	金			
12/1	土	臨時休業日(小学校課程 後期入試)		(受験者数によっては臨時休校)

【第14回英智公開研究会】 11月23日(金・祝) 該当クラスのみ登校

保護者様には午後の講演Ⅱ(講師:梶田叡一先生 15:10~)のみ参加いただくことができます。是非お越し下さい。(午前の授業の参観・見学はご遠慮いただいております)

この日の帰りのSBは 12:00 学校発となります。

【七五三お祝い会】

今年も「1stステージ1年生 七五三お祝い会」の季節となりました。この行事の「ねらい」は、「七五三のお祝いの時を迎える1年生が、今までいただいた神様の恵みに気づき、これからも神様に喜ばれる子どもになれるよう、恵みを願う」、そして「七五三のお祝いとお祈りの式に保護者の皆様も参加し、ともに子どもたちの成長を祝い、神に感謝し、これからの恵みを願う」というものです。他学年のどの児童生徒も、また大人である教師、保護者も例外なく通過してきた「時」です。ともに祝い、喜び、感謝し、そしてこれからの成長に希望を持つ機会になりますように、皆様で祈りましょう。



○11月10日(土)9:30~11:30 聖ウルスラ学院 一本杉キャンパス 聖堂  
(9:15までお越しください。9:15頃よりパイプオルガンの演奏があります)

※自家用車での来校はご遠慮下さい。いつもご協力いただき感謝申し上げます。

<4年生学カテスト・5~9年後期中間考査 日程>

4年 11月8日(木)

	4年
1	理科
2	国語
3	社会
4	算数

このあと4年生は通常通り(給食あり)

5・6年 11月13日(火)

	5年	6年
1	国語	国語
2	算数	算数
3	SHR	英語
4	—	SHR

5・6年はHR後に自力下校です。

11月13日(火)

	7年	8年	9年
1	理科	数学	音楽
2	数学	社会	国語
3	英語	理科	美術

14日(水)

	7年	8年	9年
1	国語	英語	理科
2	社会	国語	英語
3	SHR	SHR	SHR

15日(木)

	9年
1	社会
2	数学
3	SHR

※上記8・9年はTy2の時間割りです。Ty1については別に出されますが、実技科目はTy2の同学年と同日程になります。

※重要…年間行事予定の訂正：1月9・10日(水・木)は通常授業です。

行事予定表では1月10日が前期中学校入試になっていますが、正しくは1月7日(月)です。よって前日9日も含め通常授業になります。お詫びして訂正いたします。

## 11月 《聖書のことば》

### 「知恵を授けるのは主」<sup>しゅ</sup>（箴言 第2章6節）

今月の聖書のみことばは旧約聖書からです。いつもみことばは「イエス様が話したことば」（新約聖書）を選ぶことが多いのですが、今回はイエス様自身も読んでいた当時の聖書、旧約聖書からの一節です。箴言（しんげん）とはいわゆる格言のことで、古代イスラエルの人々の間に伝わる教訓、ことわざ、戒めのことです。箴言は一つのまとまったストーリーがあるわけではなく、どこから読んででもわかりやすいです。信仰の書ではありますが、主なる神の存在、親子、家庭、友人との関わり、また善悪の判断など「人間はどうあるべきか」が短い言葉で、対句でリズムカルにまとめられています。読んでいて、おもわず「うん、うん。」と納得してうなずいてしまう、現代にも通じる格言集です。旧約聖書の中でも読みやすい書物なので、機会があったらぜひ開いてみてください。

ここにいくつか紹介します。

- ・「主を畏れることは知恵のはじめ。」箴言 1.7
- ・「怠け者よ、蟻のところに行って見よ。その道を見て、知恵を得よ。」6.6
- ・「高慢には軽蔑が伴い、謙遜には知恵が伴う。」11.2
- ・「自分のことばを控える者は知識に富む者。心の静かな人は知恵のある者。」17.27
- ・「鉄は鉄によってとがれ、人はその友によってとがれる。」27.17

さて、今月のみことば「知恵を授けるのは主。」…。

私たちの身のまわりにある「自分のもの」は、どのくらいあるでしょう。よく考えてみると「自分のもの」として使っているものの多くは、最初から私たちが作ったわけではありません。ほかの人が作ってくれたり、分けてくれたりしたものです。ものだけではなく、そもそも私たちのいのちも、知恵も、いただいたものです。

うっかりすると忘れがちですが、そのことに気づかせてくれる今月のみことばです。

小・中学校 宗教部長 山口葉子

### † 創立記念ミサ・式典 10月20日(土)

ミサの司式司祭はサードステージ静修会で講演をしてくださった関谷義樹神父様でした。右上はミサの終盤で、全校児童・生徒・教職員が神父様から祝福をいただいている場面です。右下はミサの中盤の「説教」の場面。とても分かりやすく、感動的なお話でした。特に「記念日」というものについて深く考えさせられたお話でした。

「記念日はその時をただ思い出し祝うのではなく、そこからつながって今ここにいることに感謝する時です。そしてこの学校の創立記念日には、聖アンジェラ様・聖ウルスラ様、イエス様とさかのぼって今の私たちとつながっていることを感謝しましょう」写真の瞬間はちょうどこの話の時、アンジェラ像を指していらっしやいます。誕生日など様々な記念日にこの感謝を感じられることができますように…



# ほめたたえ

## ☆第 68回宮城県中学校英語暗唱大会 宮城県大会

弁論の部 最優秀賞 8年 市川 涼

※弁論の部は「高円宮杯第70回全日本中学校英語弁論大会」の予選も兼ねており、最優秀賞の市川さんは県代表としてこの大会の全国大会へ出場します。

## ☆平成30年度 仙台市小学生防火ポスターコンクール

下学年の部 優秀賞 1年 鷹松ななみ

## ☆第 65 回 仙台市児童生徒 理科作品展

### ◇小学校

科学工作部門 部会長賞 4年 佐藤維暁 「楽天ガウスピタゴラパーク」

研究部門 部会長賞 3年 鈴木舞優 「10円玉ピカピカ研究」

4年 隈元瞭介 「植物の成長と海水の関係」

6年 土屋 梨 「紫外線の研究」

標本部門 部会長賞 4年 庄子怜志 「川崎鉱山跡の鉱物、岩石と標本」

5年 渡邊凍之介 「みやぎ地学ハイキング 茂庭層の化石」

### ◇中学校

研究部門 部会長賞 7年 阿保光那・荒川琴葉

「走っている自転車がなぜ倒れないかの研究」

8年 小原玲愛

「気化熱についての研究～水の蒸発を利用した暑さ対策～」

9年 佐々木美緒 「氷のとけ方の研究」

## ☆平成 30 年度 健全育成いじめ防止標語コンクール

最優秀賞 7年 田岡茉桜

「大丈夫？ 君の一言 再確認 その一手間が 笑顔につながる」

優秀賞 7年 深澤このみ 「気がついて 小さな声の SOS」

8年 山本貴世 「『大丈夫？』 光の見えた あの一言」

## ☆平成 30 年度 仙台市中学校新人大会

### バドミントン競技 若林区

男子団体 第1位 女子団体 第1位

個人 男子シングルス 第1位 後藤優季 第2位 佐藤瑠活

男子ダブルス 第1位 相澤・矢田組 第2位 齊藤・井上組

女子シングルス 第1位 亀井菜杏 第2位 後藤咲々

女子ダブルス 第1位 太田・橋詰組 第2位 竹内・藤元組

陸上競技 女子走幅跳び 第7位 宮崎尋加